

8/3 コモンマーモセット メス1頭死亡確認。
8/5 ワオキツネザル メス1頭死亡確認。
8/7 ハクビシン オス(ドン)×メス(モコ)交尾行動確認。
8/10 アカカンガルー 性別不明1頭出生確認。(ジュンコの仔)
8/12 チリーフラミンゴ 性別不明1羽孵化確認。(オス桃橙×メス赤)
8/13 アフリカゾウ オス、メス採血実施。(部位:オス左後肢、メス右耳裏)
8/18 ラクダ 園内散歩訓練。来園者の記念撮影にも興奮することなく
落ちていた。
8/20 アカカンガルー オス(トマノスケ)×メス(ミロ)交尾行動確認。
マーコール メス1頭死亡確認。(2014生まれ)
8/22 ハクビシン メス(イチコ)、メス(モコ)にインプラント埋没手術実施。
8/23 トナカイ メス(ロナ)、リードトレーニングを初めて実施。
抵抗なくスムーズ。
8/25 ニホンザル オス1頭死亡確認。(2014年生まれ個体)
8/27 トナカイ メス(ロナ)、初めて外へ連れ出す。
ダイアナモンキー (老メス)、病院で入院中の個体をサル舎へ戻す、トラブルなし。
8/30 コモンマーモセット オス(ススキ)、日中のみオス(つかさ)と同居実施。
チンパンジー オス(ボンタ)、メス(ジェン)とトラブルになり噛まれる。
9/3 アフリカゾウ メス(花子)、採血実施。(部位:右耳裏)
9/7 チンパンジー オス(「J太郎」、初めてまんまタイム実施。特に問題なく反応。
9/8 アフリカゾウ 交尾確認。完全な状態で長く続く。
9/9 トナカイ オス(ルドルフ)、青草の採食充実による健康状態向上を
目的にキリン展示場で放牧開始。
9/11 マーコール 全頭へ駆虫薬の投薬開始。
9/12 アフリカタガメマアラシ ウェルカム動物舎展示個体、交尾した可能性あり。
9/13 キリン オス(カンタ)、非常に弱いが追尾行動確認。
9/15 トナカイ オス(ルドルフ)、体重測定実施。41.97kg(9/9計測)→
45.70kg 3.37kg増。
追尾行動確認する。ここ数日繁殖行動が度々観察されている。
3羽の健康チェック実施。体重:オス(シロ)1.34kg、
メス(モコ)1.82kg、メス(コロン)1.68kg
9/17 ダイアナモンキー 若いペアの交尾行動確認するが、老メスが邪魔をし不完全となる。
9/21 チンパンジー オス(ボンタ)、まんまタイムで着地に失敗し右肩から落ちる。
怪我はないが落ち込んでいた。
9/22 キリン オス(カンタ)、初めて採血成功。
9/23 ラクダ メス、園内散歩実施。来園者がそばで写真撮影したり
触ったりしても興奮することなく落ちていた。
9/24 アカコンゴウインコ 孵化92日目、巣箱から出て採食行動確認。
9/25 コクチョウ オス(カル)、メス(ティップ)搬入。
9/30 レッサーバンダ メス(陸)、タ方介添え歩行する。1ヶ月ぶりに自ら外へ出る。
10/5 アカカンガルー オス(モモタロウ)死亡確認。
10/7 ボニー メス(アルファ)とメス(セレナ)装飾師による四肢削蹄実施。
10/8 カニババ オス1頭搬入。(埼玉県こども動物自然公園)
10/12 インコ舎 防寒対策用サッシ戸設置。
10/13 マーコール メス1頭死亡確認。(2012年生まれ)
10/14 モモイロペリカン メス(右緑)、下顎の骨が折れる。捕獲し入院させる。

10/17 ファンボルトペンギン 採血、マイクロチップ埋め込み作業実施。
マーコール メス1頭死亡確認。(2009年生まれ)
10/21 キリン オス(カンタ)、2回目採血に成功する。今後も
トレーニングにより定期的な採血を目指す。
10/22 ニホンイヌワシ 体重測定実施。(風雅:3.35kg)、(千秋:3.45kg)
10/26 アカカンガルー 性別不明1頭出生確認。(サキコの育児囊より顔出し確認)
10/30 ニホンザル 全頭個体識別および健康チェック作業実施。
11/1 プレーリードッグ オス1頭死亡確認。
トナカイ メス(ロナ)1頭死亡確認。
11/2 トナカイ オス(ルドルフ)とメス(サクラ)の同居実施。
11/5 キョン メス(アム)1頭死亡確認。
11/7 ニホンイヌワシ オス(風)体重測定。3.05kg
11/8 ワライカウセミ メス(緑)、東京都多摩動物公園へ搬出。
レッサーバンダ メス(陸)1頭死亡確認。体重3.74kg
11/9 ファンボルトペンギン 展示場工事のため22羽を動物病院へ移動。
11/18 キョン オス(リュウビ)1頭死亡確認。
11/19 アカカンガルー メス(ミロ)死亡確認。育児囊に仔が生存していたため
人工哺育開始。
オス1頭死亡確認。
メス1羽搬入。東京都多摩動物公園より。
11/20 ニホンイヌワシ オス(信濃)×メス(たつ子)、鳴きが多くなり、巣材いじり確認。
11/21 アカカンガルー メス1頭死亡確認。(11/19生まれの人工哺育個体)
アカカンガルー 性別不明1頭出生確認。(クミコの仔)
11/29 ファンボルトペンギン 交尾行動確認。
ボリビリスザル 体重測定実施。(メス:すず690g、メス:イチ590g、
オス:ゲン計測不能、メス:おはき620g)
12/1 オオハクチョウ 性別不明1羽死亡確認。
12/3 キョン メス(ハナ)1頭死亡確認。
12/4 アフリカゾウ 新人担当者による、メス(花子)への馴致訓練
(直接給餌作業)開始。
全頭ボニー舎へ移動。
ウサギ群 冬ごもりに向け餌の減量実施。
12/6 ツキノワグマ 性別不明1頭出生確認。同日食害にて死亡を確認。
12/8 ワタボウシバンシエ フライングケージにて展示しているモモイロペリカン等を
モモイロペリカン等 越冬のため全羽捕獲し、室内収容する。
12/9 ツキノワグマ オス(稔)、インプラントモジュール埋め込み手術実施。
12/10 アカカンガルー 性別不明1頭出生確認。(トマコの仔)
カナダマアラシ メス(メープル)死亡確認。
12/18 ツキノワグマ 本日より獣舎に入らずモニターでオスの様子を確認。冬ごもり。
12/19 ホンドリス メス2頭死亡確認。
トナカイ オス(ルドルフ)体重測定実施、54.20kg。
前回計測時より12kg増。
12/20 ゴマファザラシ オス(アラシ)1頭搬入。鶴岡市立茂水水族館より一時借り受け。
12/24 ニホンイヌワシ オス(信濃)×メス(たつ子)今期初の交尾時期特有鳴き声
確認。交尾は不完全。
強めの追尾行動確認。
キリン オス(信濃)×メス(たつ子)完全な交尾と思われる鳴き声確認。
12/30 ニホンイヌワシ 午前よりファンボルトペンギン群と同居。
12/31 ゴマファザラシ オス(シゲタ)、体重測定及び血液検査実施。体重9.66kg
タンチョウ オス、メス採血実施。(部位:オス左後肢、メス右耳裏)
アフリカゾウ

かたばた通信

退職にあたって

飼育展示担当 渡辺 一

昭和48年4月、秋田市役所に18歳で入所し、最初に配属されたのが秋田市児童動物園、今の千秋公園の中にあつた小さい動物園でした。その年の9月に現在の大森山動物園ができた。動物の大移動がありました。ライオンを檻から輸送箱に移し変える時に足が震えていたことを、今でも鮮明に覚えています。20歳に異動で動物園を離れ、12年後再び大森山動物園へ戻ると、サル山とラクダ舎が新たに作られていました。その時は、トナカイなどの草食動物を担当しました。

数年後、ゾウとキリンの導入計画が進み、キリン担当として北海道の帯広市動物園で約2ヶ月間の飼育研修を行いました。平成3年3月、ついに秋田へキリンが来ることになり、東京都多摩動物公園からオス1頭、メス2頭のキリンの移動を担当しました。東京から秋田までの約600キロ、大型トラックに乗って高速道路を時速50キロでゆっくり、ゆっくり、24時間かけて走りました。到着時、市民の皆さんや報道関係者など多くの人に迎えられ、びっくりにした記憶があります。

新しい動物を担当する職員は、その動物をお見合いさせ、結婚、出産、仔を嫁に出すことで、一人前として認められます。これは、人間社会と変わりません。私も飼育員として、その職務を果たせたのではないかと思います。

ここ数年は、飼育作業よりも動物舎の整備や看板工作などの仕事が多く、自称渡辺造園士木として作業してきました。約30年間、動物園の仕事ができたのも各動物園のかたがたや大森山動物園OB、現スタッフのおかげだと感謝しております。長い間ありがとうございました。

渡辺さん
ありがとう!



お客さまの声

●園内を走る親子連れに声をかけると「ゾウはこっちですか?」と訪ねられました。「ゾウの餌やりは10時から」と書いてあるため、売り切れになると思い走ってきたとのこと、すぐには売り切れないことを説明すると安心していました。お客さまは「私たち、北海道の旭川から来ました。北海道にはゾウが近くても帯広に1頭しかいなくて、子どもがゾウを見たいということで、どうしても見せたくて…、親子でゾウに会えることをとても楽しみにしている」と話していました。再び園内で再会した時にはお子さまが「楽しかった!ゾウが一番好き!」と大満足の様子でした。また、「餌やりに500円も費やしやいました!」と話していました。

●キョンの前で「この動物は何ですか?」と質問されました。お答えすると、「種名板が見あたらずに分からなかった。」と言われました。

●ゼニタナゴについて、夜観するときれいと言われました。

●正面ゲートを尋ねてきた女性を案内していると「夜の動物園すごいですね。ライオンのまんまタイムに見とれていたら、友達とはぐれちゃいました。今日は早しか食べなかったけど、楽しかった」と満足そうに話していました。

●チンパンジー舎でキーパーに反応したボンタを見た家族連れの女性から「お世話する人をちゃんと分かるんですね。明後日あるチンパンジーのお誕生日会は誰でしたっけ?」と聞かれ、リコですと返すと「そうそう!リコちゃんだったね!」と何かでチェックして来園したように話していました。

●仙台から旅行中のお客さま(親子)が、「ゾウ屋外展示場は身近に見られてすごく迫力があるし、餌やりができてとても楽しく、来園して良かった」とのことでした。「他の動物たちもいきいきしている」と話していました。

●アシカのトレーニングを見ていたお客さまが「すごいね〜」と言いがら楽しそうに話していました。特にアシカがニツと笑う様子を見た時は、すごく笑っていて喜んでいただけたようです。

